

新聞掲載

南海日日新聞 R5.10.22



奄美の海を楽しむために

東城中3年・和田 昊樹

ほくは、奄美の海が大にしました。一人で調べ好きです。でも最近、奄美の海に危険な生き物が多いと新聞やニュースで聞きました。そこで、奄美の海にはどんな生き物がいるのかを夏休みからお母さんとおばあ

ちゃんがお弁当を作ってくれたので、とてもうれしかったです。海について早速つり糸をたらしと、大きな魚や小さな魚などたくさん釣れました。その中に、ほくが調べたかった危険生物もいました。

危険生物を見ていると、おじいちゃんが「この背中のところにとくがあるんだよ。」と危険な部分を教えてくれました。きれいな魚にもとくがあることを初めて知りました。これからも海で遊ぶ時は、危険な生き物や場所に気を付けて安全に楽しみたいと思います。



自分の学校の魅力

東城中3年・内洞 敬介

私は、小学生の時から東城中学校にずっと通っている。東城中学校は、小中合わせて26人という小規模校であるが、全員の仲が良く、魅力が

全員がいろいろな役割を担っている。私は、生徒会副会長と生活部副部長を兼任してとても忙しいが、一人一人がしっかりと自分の役割を意識して、学校全体のために頑張っているおかげで、毎日楽しく過ごすことができている。これは人数が少ないからこそ魅力だと思う。

このように、東城中学校の魅力である「学校のために一人一人が頑張る」という良き伝統を自分の学校の誇りとして、私は守り続けていきたい。ぜひ、みなさんも自分の学校の魅力を大切にしていってほしいと思う。